

経営・ESG

2025年7月30日

パナソニック コネクト株式会社

2026年4月 プレジデント・CEO 交代について

パナソニック コネクト株式会社は、本日パナソニック ホールディングス株式会社より発表された通り、当社プレジデント・CEO の樋口 泰行が2026年3月31日をもって執行役員プレジデント・CEO を退任し、4月1日付でシニア・エグゼクティブ・アドバイザーに就任することをお知らせします。

また、後任として Kenneth William Sain (ケネス・ウィリアム・セイン、以下、ケン・セイン) が執行役員プレジデント・CEO に就任します。尚、ケン・セインはパナソニック アビオニクス(株)CEO を引き続き兼務することも併せてお知らせします。

樋口 泰行はパナソニック コネクトの前身であるパナソニック コネクティッドソリューションズ社の社長として2017年に就任以来、ビジネス改革、カルチャー改革など様々なトランスフォーメーションを推進し、約8年半に渡り陣頭指揮を執ってきました。結果、2024年度はパナソニック コネクトとして、過去最高益を達成しました。

ケン・セインはパナソニック コネクトの執行役員 シニア・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントとして主要ビジネスであるアビオニクス事業を担当し、リーダーとして約6年に渡り、事業を牽引、成長させてきました。ハードウェアのみならずソフトウェア事業の経験も有しており、先端テクノロジーにも明るく、大企業でのデジタルトランスフォーメーションを主導してきた実績もあります。これらの経験をもとに、パナソニック コネクト全体の事業運営をかじ取りしていきます。

今回、事業会社パナソニック コネクトとして初めての外国籍プレジデントの就任となります。2026年4月からの移行をスムーズに行うために、本日の発表となりました。

パナソニック コネクトは来年度の新体制に向け、引き続き今までの改革を推進し、更なる企業価値向上を目指してまいります。



<ケン・セイン 略歴>

1997年：ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院 MBA 取得
1999年：A.T. カーニー経営コンサルタント プリンシパル/マネージャー
2008年：ボーイングコマーシャルアビエーションサービス ディレクター
2011年：ボーイングプロフェッショナルサービス マネージングディレクター
2016年：ボーイングデジタルアビエーション 最高執行責任者 (COO)
2017年：ジェプセン CEO
（兼）ボーインググローバルサービス デジタルソリューション・アナリティクス 副社長
2019年：パナソニック アビオニクス（株） CEO
2022年：パナソニック コネクト（株） エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント
（兼）パナソニック アビオニクス（株） CEO
2025年：パナソニック コネクト（株） シニア・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント
（兼）パナソニック アビオニクス（株） CEO

以上